

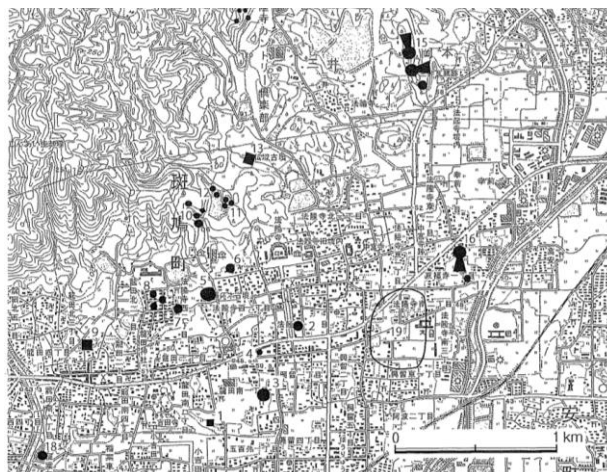
奈良県斑鳩町戸垣山古墳・舟塚古墳の調査成果

豊島直博・上野喜則・行天就要・松木研太・水川慶紀

奈良大学文学部文化財学科は斑鳩町教育委員会と共同で古墳の調査研究に取り組んでいる。令和 3・4 年度は戸垣山古墳と舟塚古墳の調査を行ったので、その成果を報告する。

戸垣山古墳 現状では約 18×16m の方墳である。墳頂部で埋葬施設の一部と考えられる土坑と赤色顔料の散布を確認した。墳丘上の盛土から川西編年Ⅲ期（5 世紀前半頃）の埴輪が出土している。葺石は未確認である。

舟塚古墳 現存する墳丘が直径 8.5m の円墳である。右片袖式の横穴式石室をもつ。袖部付近から土器群が出土した。須恵器と土師器があり、須恵器には子持壺、脚付壺、高杯、蓋杯などがある。その年代は TK10 型式期後半～TK43 型式期と考えられる。石室内からは飛鳥時代前半の瓦も出土した。なお、調査は今後も継続する予定である。



国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図「斑鳩山」使用

1. 戸垣山古墳 2. 舟塚古墳 3. 斑鳩大塚古墳 4. 龜塚古墳 5. 藤ノ木古墳 6. 春日古墳 7. 甲塚古墳
8. 竜田御坊山古墳群 9. 神代古墳 10. 寺山古墳群 11. 梵天山古墳 12. 慶華池古墳群 13. 仏塚古墳
14. 三井古墳群 15. 瓦塚古墳群 16. 駒塚古墳 17. 調子丸古墳 18. 稲葉車瀬古墳群 19. 酒ノ免道路

図 1 斑鳩町内古墳分布図

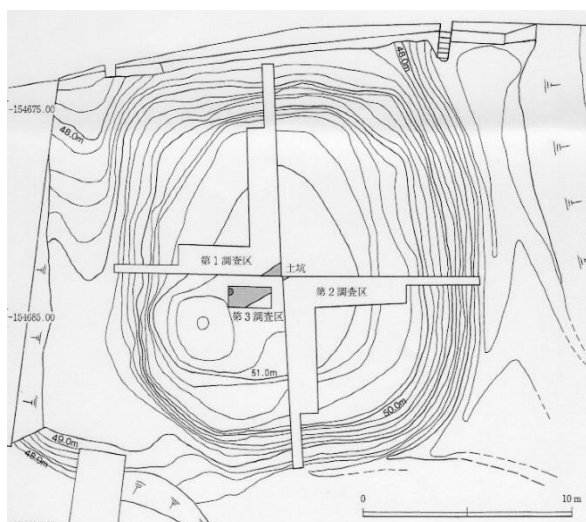


図 2 戸垣山古墳調査区配置図（第 1 次）

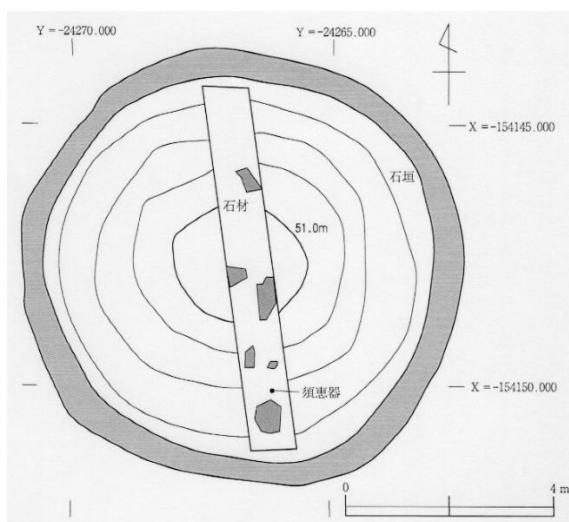


図 3 舟塚古墳調査区配置図（第 1 次）



図 4 戸垣山古墳全景



図 5 戸垣山古墳土坑



図 6 戸垣山古墳赤色顔料



図 7 舟塚古墳全景



図 8 石室内土器出土状況



図 9 袖石付近土器出土状況